

演劇ワークショップ＋「音楽劇アレコ」出演者オーディション

参加者募集

そのありきたりな日常から

生まれるものがあると気づく力は

誰もが持っている

絵画・演劇・音楽・ダンスが融合した総合芸術の集大成として、青森県立美術館で令和3年10月に開催を予定している「音楽劇アレコ」。

開催に先立ち、演劇に関する身体表現を学ぶワークショップを県内3か所で開催します。

なお、当ワークショップは「音楽劇アレコ」に俳優として出演いただく方を4名程度選出するオーディションも兼ねています。応募をお待ちしています。

【対象】

・発声や動作など、演劇における基礎的な身体表現を学んでみたい方。

・応募時点で20歳以上の、青森県内にお住まいの方。

※性別・演劇等経験の有無は問いません。

【日時・会場】

令和3年

10月18日(日) 13時

むつ市／下北文化会館(むつ市金谷1-10-1)

10月24日(土) 13時

青森市／青森県立美術館(青森市安田字近野1-85)

10月25日(日) 13時

八戸市／友の会福祉会館(八戸市長根1-2-8)

※ご都合のよい会場をいずれか1つ選択してください。

主催
青森県立美術館、パフォーミングアーツ推進実行委員会
青森県立美術館

受付期間／9月1日(火)～10月8日(木) 必着

青森県立美術館

ADMORI MUSEUM OF ART

1.応募資格

- ・発声や動作等、演劇の基礎的な身体表現を学んでみたい方。
- ・応募時点で20歳以上の、青森県内にお住まいの方。
- ※性別・演劇経験の有無等は問いません。

2.ワークショップ日時・会場（内容は全会場同じです）

- ・10月18日(日)13:00～ 下北文化会館(むつ市金谷 1-10-1)
 - ・10月24日(土)13:00～ 青森県立美術館(青森市安田字近野 185)
 - ・10月25日(日)13:00～ 友の会福祉会館(八戸市長根 1-2-8)
- ※ご都合のよい日程・会場をいずれか1つ選択してください。
※ワークショップは2時間程度の予定です。
※動きやすい服装でお越しください。
※会場等の詳細は応募いただいた方に別途お知らせします。

3.参加料 無料。ただし、交通費や食費等は参加者負担となります。

4.応募方法

参加申込書に必要事項を記入のうえ、E-mail、FAX または郵送により提出してください。申込書は美術館ホームページからもダウンロードできます(ホームページアドレス:www.aomori-museum.jp)。
※令和3年10月開催予定の「音楽劇アレコ」への出演を希望する方は、ワークショップ後、同じ会場で選考面接を行いますので、申込書の面接欄の「受ける」にチェックし、応募動機・自己PR等の欄を必ずご記入ください。

5.受付期間 令和2年9月1日(火)～10月8日(木)必着

6.令和3年度「音楽劇アレコ」出演者の選考について

全会場を通して、4名(男性2・女性2)程度を選出します。選考結果は、11月16日(月)以降、面接参加者全員へ郵送で連絡します。

7.その他

開催にあたり傷害保険に加入します(経費は事務局負担)。

8.新型コロナウイルス感染症拡大防止に係るお願い

- ① 以下の場合、参加をご遠慮いただきますのでご了承ください。
 - ・37.5℃以上の発熱がある場合。
 - ・咳、咽頭痛、全身倦怠感、鼻閉、味覚障害などの症状がある場合。
- ② 感染者又は感染が疑われる方が発生した場合は、保健所等公的機関へ氏名・連絡先が提供される可能性があります。ご了承ください。
- ③ 社会的距離の確保、マスク着用、手指消毒等にご協力ください。

募集に寄せて（ワークショップ講師から）

「それは日常から」

その音と声を聞いたのは、どこかのファストフード店のBGMだったと思う。最初、ノラ・ジョーンズの新曲かなと思って久々のハンバーガーにかぶりついていたのだが、どうも違う。毎日生きている「ここ」から音楽が生まれている感じはノラ・ジョーンズそのものなのだが、不可視で暴力的で曖昧な世界に無理矢理自分を挟み込んで、とっても辛いのですよというメッセージがゴツゴツとやってきた。

それから部屋に掃除機をかけながらFMの音楽番組を聞き流していたとき、またいきなりその音と声が出てきた。ピリー・アイリッシュという名前のシンガーソングライターであることを知った。ティーンエイジャーになれば既に広く深く膾炙していて、随分遅くにその音楽を身体に受けたのだけれど、「ああ、これはアレコの中のゼンフィーラだな」と強く思った。

青森県立美術館にある「アレコ」という舞台背景画は、M・シャガールがチャイコフスキーのピアノトリオとA・プーシキンの叙事詩にインスパイアされて制作されたが、若い男女の恋物語の誕生と終焉を描いたもので、男の名前がアレコ、女の名前がゼンフィーラという。アレコは青年貴族で階級闘争と革命意識という時代の物語で簡単に説明できるキャラクターなのだが、ゼンフィーラのキャラクターにはただ「気まぐれ」という紋切り型の説明があるだけなのだ。つまり、アレコの単なる添え物。若い女は流れゆく雲のように気まぐれなんだよ、以上おしまい、という感じなのだ。

しかし、多くの芸術や表現行為は、毎日の日常生活からしか生まれない。ある種の神秘体験も体を貫くような芸術的な衝動も日常生活をベースにしているのだ。そう、ゼンフィーラは未だに理解もされていないし、感じられてもいない。

わたしには何もない、特別な才能なんてないし、普通すぎて嫌になる。おれは平々凡々と生きてきたし、これからもそうやって生きていこう。そう思うしかない。多くの人はそうやって自分を納得させている。

しかし、日常生活を持たない人はいないのだ。つまり、そのありきたりの日常から生まれるものがあると気づく力は誰もが持っているのだ。

音楽劇「アレコ」(仮題)にあなたのありきたりの、平々凡々と退屈でもある日常を持って参加しませんか。

劇作家・演出家 長谷川孝治

【お問い合わせ・お申し込み先】

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局 〒038-0021 青森市安田字近野 185(青森県立美術館内)
TEL:017-783-5243(直通、平日 9:00～17:00) / FAX:017-783-5244 / E-mail:aleko@aomori-museum.jp

----- 演劇ワークショップ兼「音楽劇アレコ」出演者オーディション 参加申込書 -----

ふりがな		生年月日(西暦)	性別
氏名		年 月 日 生	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
住所	(〒 -)		
連絡先 ※9:00～19:00の間で連絡可能なものを記入してください。 ※連絡時間帯のご都合は特記事項欄に記入してください。	電話	自宅 () -	
		携帯 () -	
	メールアドレス		
	特記事項(連絡時間帯等)		
参加希望日・会場	<input type="checkbox"/> 10月18日(日)13:00～ 下北文化会館	<input type="checkbox"/> 10月24日(土)13:00～ 青森県立美術館	
	<input type="checkbox"/> 10月25日(日)13:00～ 友の会福祉会館	※いずれか1つを選びチェック丸を入れてください。	
令和3年度「音楽劇アレコ」出演者選考面接	<input type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない	※どちらかにチェック丸を入れてください。	
応募動機・自己PR・私が表現したいこと・最近感動した舞台・映画など			

※記入いただいた個人情報は厳重に保管し、本事業以外の目的では使用しません。